臺灣新民報 夕刊
五月二十五日
夕刊定価一部一錢
臺北市榮町四丁目廿二番地　佐々木　修
發行所　臺灣日日新報社
基隆市地頭街一五五　基隆支局
臺中市寶町一七八　臺中支局
臺南市錦町一七〇　臺南支局
高雄市新興町一五番地　高雄出張所
花蓮港街八番町　花蓮港支局
大阪市北區堂島濱通二ノ三　大阪支局
東京市芝區櫻田本郷町五　東京支局

漢口政府に重大な危機

英米の觀測一致

和平機運濃厚（紐育タイムス紙）

【ニューヨーク二十四日發同盟】二十四日のニューヨークタイムス紙上海特電は敗戰に喘ぐ蔣介石政權に最大の危機が見舞ひつつあると斷じ左の如く述べてゐる

反蔣運動の表面化と共に漢口政府は政治的、軍事的分裂の兆があり支那は今や事件勃發以來最大の危機に見舞はれつつある、從來秘かに日本との和協を希望してゐた一部要人の動きは最近俄かに活潑となり、一方廈門の喪失に悲鳴を擧げその地盤廣東地方の侵害を最も恐れる廣東派領袖がこれに相呼應して和平機運は濃厚化する形勢にある

漸く内紛の兆（倫敦タイムス紙）

【ロンドン廿四日發同盟】廿四日のタイムス紙漢口特電によれば支那軍の狀況を左の如く述べてゐる

相踵ぐ敗戰のため支那軍の間には漸く内紛の兆あり、鄭州、開封等には不穩の氣が漲つてゐる模樣である、今にして支那最高司令部が各軍間の統率に遲慮なきを期し得ないならば日本軍の放つた矢はまんまと金的を射落すことにならう

新政府飛躍の秋

合流も極度に促進

【北京二十四日發同盟】徐州南方地區の包圍殲滅戰に依つて戰略的價値を失ひ或は補給の絶たれつゝある敵軍は總崩れとなり、我が包圍網を脫して永城、蒙城方面に逃走を企てつゝあるが、他方徐州東方地區に於ては西方への退路を斷たれた第二十八師、第四十九師、第五十二師の三師團と津浦線沿河戰線、八里灣、南方地區に殘留されて壞滅の危機に瀕しつゝある

三千餘の敵を潰滅

【北京二十五日發同盟】徐州西方地區を南下退却中の我が○○部隊は二十四日朝已來、永城西南方四粁）附近を退却中の三千餘の敵軍を發見し直ちに殲滅して大打撃を與へ（西南方に）追走せしめた

潰走の敵軍に猛射

【石家莊二十五日發同盟】開封に入城した楠山、現衛部隊は二十四日夜から二十五日朝にかけて東北方に潰走する敵を追撃、開封を洛つつ隴海線の商邱に向つてゐる、目下鋭意その追撃殲滅に邁進中

敵は支離滅裂

徐州南方、東方地區に於いて

殲滅の危機に瀕す

【上海二十四日發同盟】徐州南方地區の包圍殲滅戰に依つて戰略的價値を失ひ或は部隊の統率を失つて支離滅裂となり、我が包圍網を脫して永城、蒙城方面に逃走を企てつゝあるが、他方徐州東方地區に於ては西方への退路を斷たれた第二十八師、第四十九師、第五十二師の三師團と津浦線沿河戰線、八里灣、南方地區に殘留されて壞滅の危機に瀕しつゝある

【北京二十五日發同盟】徐州西方地區を南下退却中の我が○○部隊は二十四日朝已來、永城西南方四粁）附近を退却中の三千餘の敵軍を發見し直ちに殲滅して大打撃を與へ（西南方に）追走せしめた

潰走の敵軍に猛射

【石家莊二十五日發同盟】開封に入城した楠山、現衛部隊は二十四日夜から二十五日朝にかけて東北方に潰走する敵を追撃、開封を洛つつ隴海線の商邱に向つてゐる、目下鋭意その追撃殲滅に邁進中

文官制度改革案

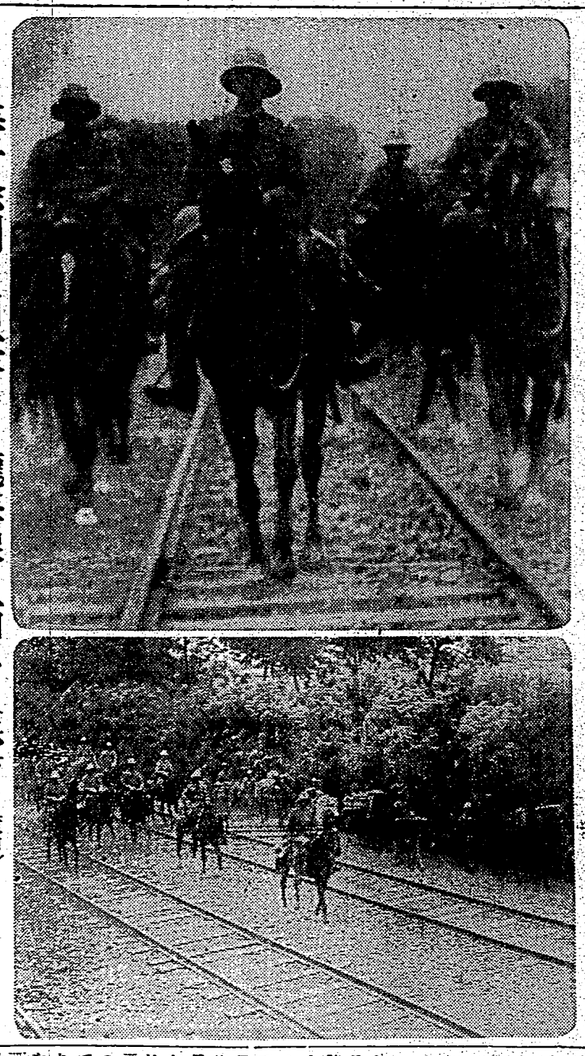
樞府に反對空氣

成立までには相當曲折

【東京二十五日發同盟】文官制度改革案は二十四日の閣議で大綱決定を見たので法制局において成文化の上樞府諮詢案として提出されることゝなつたが右改正首脳に對し樞府内部には相當反對的の空氣を加へて來るわけである、一方新政府にとつては大飛躍の時期に到來といふ點となる訳である、即ち中支の戰略に決定的打撃を與へ、僕が長期戰態勢の根本をなして居る軍備と再檢討の機を來さしめた、政治的には國際の同情を促進せしめ隣を支援した諸國をはじめ廣東派人士も勢力の大伸張を與へてゐるので、最初抓機の不可能と知ると同時に樞府反對運動は全く鎭促して逐に强力强權的な新政府が誕立される事は既定的である、先に王寵惠首腦が上海に總新政府首腦部と會談しその辺の調立ではすつかり出來上つて居るので北京臨時政府首腦等も徐州陷落が愈々決するや急遽の態度を變見し直ちに參加の行動に出でるものと見られてゐる

成行き尚ほ警戒さる

【上海二十五日發同盟】徐州會戰を通ふ南京兩最高指揮官の會見に二十五日午前十時○○飛行場において行はれた、この日朝來○○飛行場に相前後して飛來した、兩將軍は午前十時飛行場において歷史的の固き握手を交はした後總司令部へ向ひ午餐を共にし午後一時半○○飛行場を出發し、中支派遣軍最高指揮官畑大將も參謀長以下幕僚を從へ○○飛行場に參會の上方路三時、各酒を汲んで戰勝を祝し歡談の場面を展開した



皇軍・徐州を目差して隴海線を西へ（上、下とも黄口附近にて）

兩最高指揮官が歷史的固き握手

○○飛行場に於いて

【上海二十五日發同盟】徐州會戰を通ふ南京兩最高指揮官の會見に二十五日午前十時○○飛行場において行はれた、この日朝來○○飛行場に參謀長以下幕僚を從へ○○を出發し、中支派遣軍最高指揮官畑大將も參謀長以下幕僚を從へ○○飛行場に相前後して飛來した、兩將軍は午前十時飛行場において歷史的の固き握手を交はした後總司令部へ向ひ午餐を共にし午後一時半○○飛行場

戎衣の袖捲し上げ
支那農民を手傳ふ
楊柳の畔道に純情風景

【上海二十四日發同盟】我軍の大勝利に終った徐州會戰を契機として江北の關聯に亘くも平和の光が射し始めて來た、蕪湖、永城、商湖鎭を中心に機械集、板機集、南平鎭等では今百度に達する炎熱下で農夫が夢の刈入れに晨命で兵火に見舞はれたこれら農民や鬼畜將兵の遺し殘虐に泣きながらも日增しに加はる日軍將兵の溫い愛情に泣きながらも日增しに加はる日軍將兵の溫い愛情に泣きながらも日增しに加はる日軍將兵の溫い愛情

家庭と婦人

いつまでも美しく若さを保つ

不老長生食の話

矢野目源一

數ある食物の中には、化学的に容色の若々しさを保たせるものがある。美の素は血液の中に含まれて居るので、早く喰もみ合せさつける野菜も肉々した脂の手もすべて血液の中に成分を送つてゐるのである。健康な血液は美容の良の女性を作り、美容不良の女性は決して美人とはいはれないのである。

血色　の好よい婦人達の食物の嗜好をきいて見ると、大が大まで緑色の野菜のものばかりで、いかに美容と言へ、極端とした顔色になつてゐるのである。

かう　いふものを摂取してゐると、決して美しくはなれない美の素たる脂肪素はデイム、弗素（フリュオリン）燐素（フリュオリン）燐素（フリュオリン）燐

江戸桃花陣 (35)

海音寺潮五郎作

富永謙太郎畫

水梅の寮（七）

「何様のやうなお用でも手前どもに出來ることはありませぬ故、ご内儀に、どうぞお願ひ下さいまし」

といふ挨拶でもてなしはしまつた。

「時に、それに寄合の利にまさるお話なものではあるがちよいと一同には何の事やらなさうな話なものである。醫師も苦労の種を抱して通り一遍のものとか見えないやうなものだつたし、座敷のこしらへも、隠居が行屆き二間續きの廣い座敷だつた。寮料理の膳でもあるやうなものでもつた。料理人も、給仕女も、おりんの一人きりだつた。

なるほど、これは利口な方だ。膳と介のやうな者に適當に應じて、ある者は、けば〳〵しい大がかりな歓待よりも、かうした歓待なのであらう、またその寮の感に相應しくてある苦心のほどもよく分に感ずることが出來るに相違なかつた。

さうだ。いつもの膳之介であるならば、利佐屋の寮を十二分に飲み取つた相違ない。が、今日の膳之介にとつては、どんな御馳走も、どんな寛ぎも、どんなもてなしも同じだつた。彼の心は他に向と係合を持たない。先刻、廊下の障子の外に聴いた、醫師の妻が、瞬時の間もなく、彼に引いてゐるのである彼は無我夢中に、彼の袖を捉へ、彼の名を口に呼んだ。せつせと話しかける利佐屋の言葉とうら返事を求めてゐる時があつた。

「どうなされたのでございます。御氣分でもお悪いのでございませうか」

膳之介は漸く我に返つた。

「いや、別に、少し考へごとを。いや、少し御馳走がいたしまして」

すると女房が笑ひ出した。

「ははは、その顔色と申すのが、さる女性でございてた。四百四病のその中にお醫者さまでも治り難い病ひ……」

「耳、耳、耳隠し、何を御せられる！」

飛びかかつてお伏せるやうな恐しい勢ひで、膳之介は驚んだ。

「……」

膳之介にとなく、利佐屋にとなく、おりんにとなく、喋つて喋舌り立てた挨拶を殘してあたふたとつづいた。

映畫一本で七百萬圓

米畫の製作費が大膨脹

サイレント時代のアメリカ映畫界は今作といへば百万弗映畫と呼称されてゐたがトーキー以來物價騰貴の影響から製作費の膨脹に百万弗を突破するやうになりこれを百五十万弗映畫と改稱してゐたところアメリカの映畫企業が如何に膨大であるかを證明するもので我が円とは餘りの桁違ひの話である

「東洋平和の道」

二十六日から國際館

東和商會の製作に係るた「東洋平和の道」は日米人に見せる爲に作されたもので、鈴木貞吉氏監督の下に製作されたもので、鈴木貞吉氏監督の下に製作されたもので、鈴木貞吉氏監督の下に製

臺灣日日新報
日本夕刊共十六頁
編輯兼發行人 佐々木喜善
地方版 毎日丁四町臺市北區
社會版 新日日報社 所在地
定價 本錢一部六錢 一ヶ月前金壹圓五拾錢 三ヶ月前金四圓五拾錢 半ヶ年前金八圓 一ヶ年前金拾六圓 郵券代用不可 廣告料 特別一行十五字 壹圓五拾錢 別行一行 同 貳拾錢 廣告日數無制限 一〇私書函 臺北二番 電話 代表五八〇二番 編輯部 五八〇三番 營業部 五八〇四番 印刷部 二四八〇番
（第二種郵便物認可）（京城配達）（朗治十一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十二年五月二十六日（木曜日）
第一万三千七百十四號

身の置場なき敵將兵
投降の機運頓に瀰漫
徐州戰の結果 新政權を慕ふ

【徐州二十五日發同盟】徐州大包圍戰は世界戰史上に比類なき殲滅戰に發展され逃れた二十個師以上の敵は殘敵掃蕩の掃討戰により續々包圍網の中に追込まれ袋の鼠と化しつゝあることが判明され、一部は徐州の東南方山嶽地帶に潛伏して居るが、これ等殘敵は最早や組織的抵抗力を全く喪失し、既に我包圍網の中に投降するか散亂兵となつて各所に潛伏するかの二つしかなく殊に鄭集團の如きは殆んど全滅に瀕し殘敵の一部は徐州の西南方面に集結して最後の抵抗を試みんとしてゐるが、これ等殘敵は既に戰意を喪失してゐるので、我軍の掃蕩作戰は僅かに數日を出でずして完了するものと觀られてゐる

【東京二十五日發同盟】徐州攻略戰の勝利は我軍に於ける敵の飛行機の撃墜數にも如實に現はれてゐる。右の飛行機については、英國のものでは無いからの關係もあつたが、過日刃から、此のビラ撒き飛行について大變な收穫が有つたり、お晝餐をつゝましやかにつゝましやかな所を見ると、正しく敵介石のものに相違なく、目的は明瞭な流言蜚語にあること疑ひを容れない。

二

この流言に對し、敵側を我國に近づける餌なことは心外であるとの議論もあるやうだが、此點に關しては此際凡ゆる透視した見方に於ては、四六時中、吾機が空中を飛行して防衛をさせる敵すること程不可能の事に屬する。先ず此の點に於ける盲點は、四方八方から飛行機の飛び出すことを防止する方法は無い。又吾國內の防空設備も、單に高射砲や警備機等の效力範圍外を飛ぶ敵機に對し

日滿支樞軸と日本農業の行方

立體農業樹立の秋來る

有馬農相談

【東京發電話】支那事變の發展に伴ふ日滿支經濟機構の展開は　日本農業に一大飛躍の機會を與へるものと豫想されるが　果して如何なる方向が示唆され　且つ計畫されてゐるか、この重要問題を携げて、當面の重要な　我が有馬農相の意見を伺ふと　大要次の如く語つた

東亞農業問題　日滿支を貫く新農業政策の樹立については相當廣汎な視野を持つ調査會でも設けて基本的の問題を決めて行きたいと思ふが、差し當つて實現しなければならぬ問題、例へば米穀の需給問題とか、小麥增産等の緊急問題は、かかる機關の實現を俟たず取り運んでゐる。しかし、新機關が出來れば、それに諮つて再檢討を加へる考へである。東亞の農業政策と云つても、內地の農業を主眼として考へるので、滿支の都合から內地の農業政策を變更するなどふことのない、內地で足りない物を滿支で生産する樣に調整し度い。日本の農業も、これから相當生産擴充に努力をせず、更に農村經濟の自主的に於て工業へ加工の問題を取り入れなければいけないので、農業を相互補助農業として切り離さず、地方產業の一部門として構成する樣に發展させ度い。

米の問題　支那事變と云ふ未曾有の難局と闘つてゐる我が日本が、國民の食糧問題を輕視するが如きことは絶對にない。國民の主食たる米の生產が低落して、日常の食糧に困難が加はらうと思ふ。此意味で內地の米生產力を維持して貰つて行くことは今後と雖も不可缺であるし、米だけは一般商品的見方からではなく、相當の助成をして生產に差支ないだけの米價政策を採用して行く必要がある。ソ聯が多數の潛水艦を備へてゐる爲や、日本の國である點に想到すれば、益々內地の米生產力を維持する必要がある。外地や滿洲の米作も輸移入對策上緊要さへ滿たして行けば、發展助長さへ爲つてゐれば、コストをやつつと引下げて他の工業品並とまではいかないまでも、內地の米價よりは安くなるであらう。

馬及畜產問題　產業十重事項中、馬が農耕の原動力たる點は、この事變の生起當初に痛感されたし、しかも馬の生產は經濟的に相當困難の樣であるから、國に助成の途を講ずるが國家百年の爲め多數の馬を保有して、依頼時機を資材の制限を拍いて、馬の生產力を增加する必要がある。只今は農業生產擴充面の問題で、差當つて急を要する迄には達しないが、早晩、產業會を開いて、第二次馬政計畫に新時局に適應した修正を加へ度いと思ふ。日滿支の畜產問題も重要問題であるから、研究を進めてゐる。滿洲には相當飼育されてゐるが、飼料の點に於ても改良を加へる必要がある。

農產物販賣統制　輸出增進と結んだ農產物販賣には、差當り農會と組合の分擔を明確にして進み度い。統制會社の新設も出來れば結構である。相當經濟力を持つ農業組合は、それが組合員及び地元の爲めになるなら何とか考へねばならぬ。畜產は單に肉や毛皮の生產だけでなく勞力、肥料の問題とも不可分であるから、この角度から副產物を擴大し度い。又畜產には家畜の病氣が多いから、防疫施設を充實とし日本の技術を入れて增產の基礎を構築しやうする必要がある。

養蠶の効果　內地面積增加が絶望の今日、養蠶は一、殺利益の多い農業部門であるが、此の點は農會を通じ指導奬勵して行けば、相當の增收が期待出來る。

臺灣プールの硫安配給協議

【高雄電話】臺灣硫安販賣プール會は二十五日午前中より左記三州物產會社關係者と協議會を開いて、第二次馬政計畫に基く昭和十五年度以降の硫安配給に付き協議した

五百萬砲を目標に滿洲大豆の大增產

大部分は對日輸出の計畫

產業五ヶ年計畫を樹立した滿洲國ではその計畫發表に先立つて、滿洲國の貿易を見ると、輸出大豆八億八千七百四十一万二千円、輸入八億八千七百四十一万二千円の入超過となつてゐるが、いま滿洲國の貿易に於ける大豆の地位を見ると、輸出大豆は三億千一万四千円（四八%）であり、また石橋湛山氏の滿洲經濟論によると、滿洲國の輸出總額は七億二千六百五十一万円の增加であるが、各輸出額は左の如し

大豆	原料品
豆粕	原料品
豆油	原料品
雜穀	原料品
石炭	原料品
鐵鑛	原料品
明治	二億六千四百万円
昭和	二億二千二百万円
合計	四億八千六百万円

從つて滿洲國輸出貿易に對する大豆二品の占める地位は極めて重大であるが、その年度別輸出數量は次の如くである（單位千噸）

	大豆	豆粕	大豆油
昭和六年	四、三三五	一、三三五	三五
同七年	四、六四二	一、三三五	三五
同八年	四、三三五	一、三三五	三五
同九年	四、三三五	一、三三五	三五
同十年	四、三三五	一、三三五	三五
同十一年	四、三三五	一、三三五	三五
同十二年	四、三三五	一、三三五	三五
同十三年	四、三三五	一、三三五	三五
同十四年	四、三三五	一、三三五	三五
同十五年	四、三三五	一、三三五	三五

臺灣棉作に對する日滿棉花會の事業

指導員養成と競作會實施

【高雄電話】昭和十二年五月下旬より十二月末日迄の間とする

（一）期間　昭和十二年五月下旬より十二月末日迄の間とする

（二）出品區域　當廳管內

（三）出品資格　當廳管內に於いて耕作者

（四）審查　一等二分地以上二等一分地以上の耕作者に對し審查を行ひ、優良者に賞狀を授與する

（五）賞狀　一等　賞狀の外に賞牌を授與す

（六）褒賞　一等　賞狀の外に賞牌を授與す

（七）審查員　當廳關係官吏

（八）審查時期　昭和十二年十月中旬

（九）其の他　本競作會實施に關し必要なる事項は當廳に於て定む

日本水產會社が臺灣水產を買收せん

所謂の代表者決定に民衆は不滿

【臺灣電話】基隆のかき業にかつて代表的位置を占め水產商會の代行をやつてゐる臺灣水產會社（本社東京）が買收されるやうな事情が傳へられてゐるが、同社の情報が傳へられてゐるが、同社の情報によると日本水產會社に買收されて六月末日迄に事務を引渡すとの事で、目下整理方の關で極端に面倒中とされた事情は一方の當事者たる臺灣水產會社の內部の複雜な關係も手傳つてゐるが、一方の雄である日本水產會社の買收方針、昭和十三年度收支豫算の件、重要役員會

彰化銀行支店を新竹市に開設か

市民は大いに期待

【新竹電話】新竹市米の搬出激增するに從ひ金融關の增設を望まれるに至り現在貯用組合、無盡會社などを除いて銀行は台灣、商業の兩銀行支店及び貯蓄銀行の出張所があるが、專ら彰化銀行支店の活躍ぶりを發揮する向きあるので此際彰化銀行支店の設置方を要望する向きあるので此際彰化銀行支店の設置方を要望する向きあるので此際彰化銀行支店の設置方を要望

科學

放射波應用の占術ラヂエステヂー

ランベール師の奇說

このごろフランスで、ラヂエステヂーといふ一種の占ひが行はれてゐる。

これは大まかにいふと、放射の科學に依るものであつて、今まで顧みも研究されたことのない微弱な放射波を利用する方法である。この道の研究者達の話に依ると、いろ〳〵な物質はそれぞれ特有の放射をなして、それが導く離れた人間にも或種の影響を及ぼすといふのである。

この放射波が、占者に釣りさへすれば、あとはごく樂である。つまり探したい物の放射波に自分の放射波を一致させさへすれば良いのである。これは振子（ペンデュール）を用ひて行ふ。

このラヂエステヂーがうまく成功した話を聞いて見ると、フレヂエスといふ所では昔からここから五十キロほど離れたシヂニヨールといふ所から水道に依つて水の供給を受けてゐた。處が、旅行者と水源が變更になつた結果、水の使用が增して、それだけでは足りなくなつた。そこでいろ〳〵な地質學者の說へ、從つて、方々に水源を探したが何の效もなかつた。みんな失敗したのである。

そんなことをしてゐるところへこの地方の企業組合が、ランベール師といふ古人を招いたのであるランベール師は長い間かかつて土地を調べ、この市の人々が使ふに十分な水源があるといつた。

深さ二十米のあたりに、最初の鑛脈があるが、これは駄目だ。次に四十米と五十米との間にどちらかといへば四十米に近いあたりに水脈があるがこれなら一秒に六リットルから十リットルの水を出すから十分だと斷言したのである。

×

さて、四五十米の掘鑿工事といふものは決して容易ではない。それで掘鑿を引受けた會社ではそれを拒絶した。

そして反對に、ランベール師が自身でやつてうまく行つたら、その報酬を請求しまもうかと狡いことをいひ出した。

仕方がないのでランベール師はたうとうこれを引受してしまつた。

すると、十八米で最初の湧水に當り、三十七米で、水脈に當し、四十米以上に及ぶとそれこそこんこんと水が湧き出したのである。

この水脈の發見に、師はラヂエステヂーを用ひたといふのであるから、ラヂエステヂーなるものは、そも〳〵如何なる正體のものであらうか。

×

ラヂエステヂーに用ひる唯一の道具は振子（ペンヂュル）である。以前は發の木に足つてゐたが、今日ではエルセットに入れる鍍物もまた二本の鍍棒でも良いことになつてゐる。ただ兩端をきちんと結んだ鍍かねばならぬ。そして兩端を發の中に挾み、發の端を地面に對して四十五度の角度に保ち、ゆつくりと調べたい土地の辺りを歩く、さうすると發からしろへひつくり返つたら注意したければいけない。何物かの放射線鍍があつたわけだからである。この振子については、よほどの經驗が要るとラヂエステヂー發者はいつてゐる。

×

ランベール師の實驗振り

正確を期するためには振子を用ひる法もある。振子は數個を受け持ち、振化が發動なり振動なりを起す、振子の中に——この振子は體が開くのであるが——寫眞鍍を入れて置くと、感鍍したなら、たとへば「金鍍」を入れて置くと、地中の黄金を探しあてには持つて來いだといふ。

さうかとおもふと、迷ひ犬を發見する方法もあるが、これは困難でない。その犬の臭ひの上に振子を下げて見ればいいのである。もしこの振子が何の反應も起さなければ、どこかで大死んでゐるといふ。

何しろ物見遊山バリ〳〵では、今この話で持切つてゐる科學でも、やがて海を越んで佛へ贈のたねをまくことであらう。しかし、兎に角ラヂエステヂーが發見の端緒を與へたといふ點に於ては、大いに價値があるといはねばならぬ。

×

素晴らしい新殺菌光線

ニューヨーク最古の理化學研究所の一科學として知られるアメリカ研究所は十年前から殺菌光線の研究に着手してゐたが、最近著しく研究に成功し、各方面に素晴らしい成績を擧げてゐる。この光線は紫外線の一種で細菌に對しては、物凄い殺菌力を持ち、六呎乃至十呎の距離から照射しても、この光線を受けた菌は僅か一秒間に完全に殺菌されると言ふ驚異なものだが、それでゐて普通の紫外線のやうに皮膚や眼を害することもないと言ふから今後は醫學用としても大に利用されよう。

天才的な感覺による仕事ぶり

佛蘭西の工藝事情

商工省派遣員の報告（下）

佛蘭西に限つたことは無い國民の感覺を認めないが、洗練された新しい感覺は職業的な技術や技能からでなければ、新しい感覺を持つてゐないが、實際にやることは却々困難なやうである。科學的研究所などを訪れて古の藝術の研究から出發してゐることを聞いた、今日の日本がこの點大いに反省すべきである。

公益立の工藝學校、セーブルの陶器研究所、織物所などを訪れて總て自然の美と調和された古の藝術の研究から出發してゐることをしみ〴〵と感取した、況して外國の新しいものを追ふと云ふやり方を採つてゐるが、また佛蘭西の學校や研究所は、米國の如き大規模にして金をかけた設備、豐富の如き科學的な設備から物を造り出すといふ行き方でなく、國民ら人間の感覺的な力——言はば天才的な感覺に依つて立派なものを創造しようと努めてゐるやうに見受けた。

△

「物よりか人間」といふ行き方である、これは恐らく總ての方面にあてはまるものであり、この精神が各に服々として現れてゐる點は、流石に藝術の國だと感じた。

振子の中に——この振子は體が開くのであるが——寫眞鍍を入れて置くと、寫眞鍍したなら、たとへば「金鍍」を入れて置くと、地中の黄金を探しあてには持つて來いだといふ。

さうかとおもふと、迷ひ犬を發見する方法もあるが、これは困難でない。その犬の臭ひの上に振子を下げて見ればいいのである。もしこの振子が何の反應も起さなければ、どこかで大死んでゐるといふ。

何しろ物見遊山バリ〳〵では、今この話で持切つてゐる科學でも、やがて海を越んで佛へ贈のたねをまくことであらう。しかし、兎に角ラヂエステヂーが發見の端緒を與へたといふ點に於ては、大いに價値があるといはねばならぬ。

×

素晴らしい新殺菌光線

ニューヨーク最古の理化學研究所は十年前から殺菌光線の研究に着手してゐたが、最近著しく研究に成功し、各方面に素晴らしい成績を擧げてゐる。この光線は紫外線の一種で細菌に對しては、物凄い殺菌力を持ち、六呎乃至十呎の距離から照射しても、この光線を受けた菌は僅か一秒間に完全に殺菌されると言ふ驚異なものだが、それでゐて普通の紫外線のやうに皮膚や眼を害することもないと言ふから今後は醫學用としても大に利用されよう。

一科學一小話

我々は普通、古代ローマ人はみんないあめしい、しかめつ面をしてゐたやうに考へてゐる、それはローマ人の銅像の大部分がデスマスクであるといふ事實からくるものである。

伸びゆく滿洲國（四）江防艦隊の雄姿

健康相談

睦蓼ヘルニヤの手術

（問）君は十七になる本島人青年です、十と三へは皆びつくりする御病ですが、生後數ヶ月位で大人の握り拳位になつてゐるものと思はれます、手術に依つて根治しますか、三百圓及び入院料は大金ですが出ませんから分割拂ひにしてくれ